

科目名	健康生活看護学(老年概論)			ナンバリング	PEN531	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	橋本知子	担当教員					

授業の概要	成人期を経てきた存在としての高齢者について、その特徴および健康課題をとらえることを通して、老年看護の概念および理論を学修する。今日の高齢社会の諸相を大局的にとらえ、人間の加齢過程を把握し、高齢者の発達段階、健康および高齢者の家族の特性を学ぶことで、その課題について把握する。また、高齢社会における保健医療福祉の動向とその課題について理解を深める。						
到達目標	1. 高齢者について、その特徴および健康課題を捉えることを通して、老年看護の概念及び理論を学習する。。2. 高齢社会の諸相を大局的にとらえ、公営者の加齢過程、発達課題及び家族の特性を理解する。3. 高齢社会の保健医療福祉の動向を把握し個日の倫理的課題を学ぶ。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義の中で提示した重要な概念は自己ノートに整理し評価レポートとして説明の応えられるよ様にしておく。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 高齢社会の実態と課題を捉えることができる。2. 老年看護の概念および理論を述べる ことができる。3. 高齢社会の諸相を統計学的資料を用いて大局的にとらえることができる。 4. 高齢社会の保健医療福祉の動向を把握し今日の倫理的課題を言える。	1. 高齢者について、その特徴および健康課題を捉え資料を基に説明できる。2. 老年看護の概念および理論を資料をもって説明することができる。3. 高齢社会の諸相を統計学的資料を用いて大局的にとらえ考察することができる。4. 高齢者の加齢過程・発達課題および家族の特性をデータをもとに説明することができる。5. 高齢社会の保健医療福祉の動向を資料を基に説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○			○		30%
小テスト・授業内レポート	○	○			○		10%
宿題・授業外レポート	○	○			○		40%
授業態度・授業への参加			○	○			
発表(プレゼン)	○	○	○	○	○		20%
出席							欠席は減点となる ことがある

課題、評価のフィードバック	1. 時間内で実施する小テストは授業時間内で評価する2. レポート類の評価・返却は原則としてmanab@上で行う3. 期末試験の解答用紙は、学生からの要請があればいつでも開示できるように準備をしておく。レポート・課題発表40%、期末テスト60%、
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	オリエンテーション、高齢社会の実態	今日の高齢社会の実態と課題について	DP1.、5
	第2回	社会機能の変化とともにある高齢者の理解	高齢者の生活実態、生活と社会的活動、経済状況、就労等を社会機能の変化とともにあることを把握する	DP1, 3
	第3回	高齢者を取り巻く社会	高齢者を取り巻く社会を高齢者の生活と家族・生活する場・高齢者を支える制度・社会資源・地域包括ケアの視点から概説する	DP1, 5
	第4回	家族と介護、在宅看護	要介護介護高齢者と家族介護者とその影響、介護者の特徴、生活への影響についてとらえられるように説明する	DP1, 3, 5
	第5回	長期療養施設、地域連携	介護福祉施設、介護保健施設、地位密着型サービス、デイサービス・デイケアなどにおける特徴・看護についての課題をまとめて発表することにより共有する	演習、グループワーク、DP1, 3、5
	第6回	保健医療福祉の動向とその課題	高齢社会の保健医療福祉の動向と課題について概説する	DP1. 3、5
	第7回	高齢社会看護学の歴史的、特性と課題	高齢者看護の基本を高齢者看護の歴史的変遷から考察する	DP1, 3, 5
	第8回	高齢者看護の基本となる倫理	自己決定権、虐待と身体拘束、尊厳死と延命治療等について概説する	DP1, 3, 5
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験			
授業の進め方		講義を基本とする。課題学習については事前学習後、グループのプレゼンテーションである		
授業外学習の指示		①講義当日の内容をノートに整理し復習を行う②manab@に掲載されている次回の資料を読んでおく、 (授業外学習時間： 毎週 60 分)		

教科書	ナーシンググラフィカ高齢者看護学①
参考書	老年看護学 医学書院,
参考URLなど	
その他	